

平成28年度小樽スキー連盟功労賞 受賞者紹介

(敬称略・五十音順)

後藤 龍治（59歳）小樽アルペンスキークラブ所属

十数年に亘り、連盟主管の各種公認大会競技役員コース係として積極的に協力し、小樽スキー界の発展に貢献し現在に至る。

竹内 章（61歳）小樽スキー指導員会所属

永年に亘り基礎スキー指導者として、一般スキーの普及発展に活躍し、また、スキー連盟の教育部専門委員長として、現在も活躍しております。

武田 勇蔵（69歳）小樽スキー指導員会所属

永年に亘り基礎スキー指導者として、一般スキーの普及発展に活躍し、また、長い間スキー指導員会の委員長としてご尽力されました。

新倉 敬子（66歳）小樽クロスカントリースキークラブ所属

30年以上に亘り全道高校、北海道スキー選手権、国体、全日本マスターズ等の競技役員として活躍した。また、歩くスキー教室、歩くスキーと雪あそびの集い、ミニコンバインド競技会等において、その普及啓発に大きく貢献している。

ダイヤワックス社代表取締役のかたわら、北海道歩くスキー協会事務局長を20年以上務め、普及啓発に尽力した。

早川 澄治（60歳）小樽アルペンスキークラブ所属

20年以上に亘り、連盟主管の各種公認大会競技役員旗門員並びにコース係として積極的に協力し、小樽スキー界の発展に貢献し現在に至る。

本間 照康（67歳）教育部所属

小樽スキー連盟教育部専門委員会に長年にわたり在籍し、小樽基礎スキーの指導的立場で後進の指導に精力的に取り組み、更に小樽天狗山スキー学校の校長として、小樽スキー界の発展に尽くした。

また、全日本スキー連盟技術員、北海道スキー連盟教育本部常任技術員としてスキーの振興に果たした役割は大きい。

【団体表彰】北照高等学校スキー部

これまでに全国高校スキー競技会の総合優勝を7度成し遂げた高校スキー界の強豪。

北海商業学校時代の1932年、関口勇氏を皮切りに、数多くのオリンピック選手を輩出してきた。第9回から第22回まで14大会連続しOBが出演している。小樽から世界へ羽ばたく選手の育成を継続している意義は大きい。

今秋、創立100周年記念式典を開催した。